

山行報告書

作成:2010年1月3日

愛知岳連 岡崎山岳会

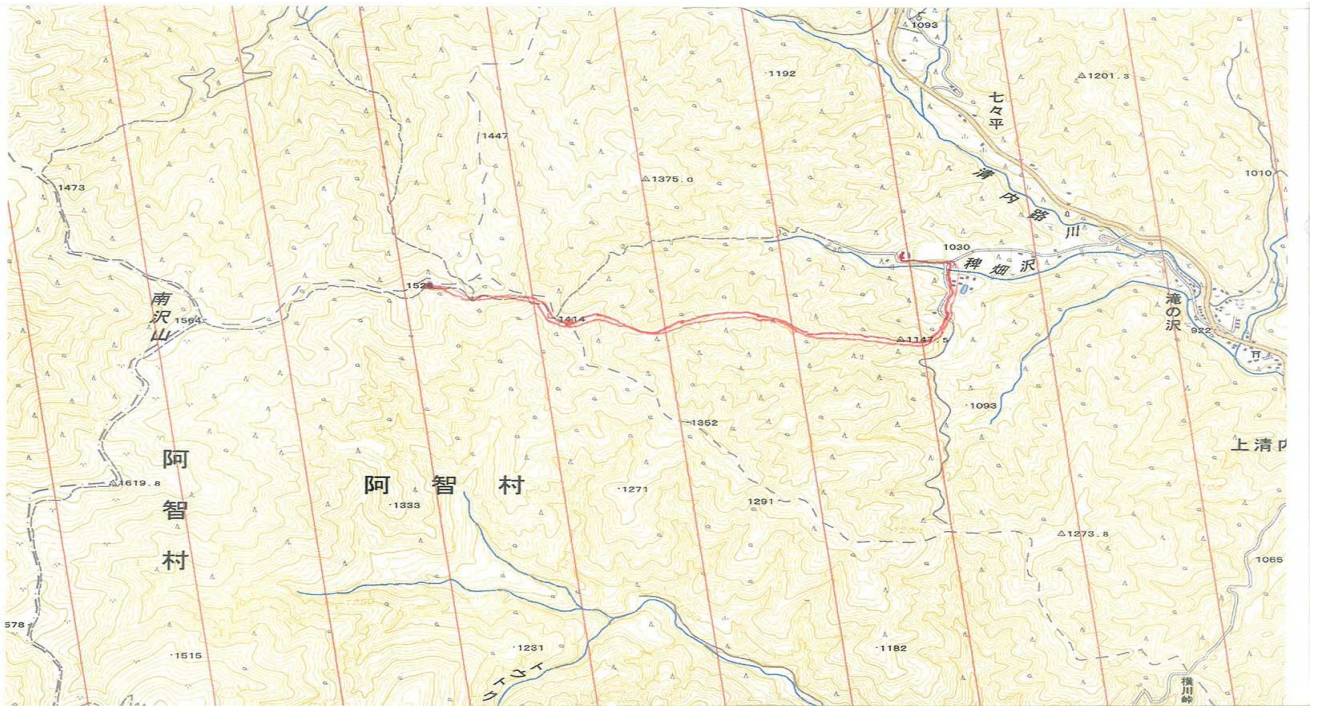
山名[山域]	南沢山(1564m) [木曾]	目的[方法]	新春ダイエット山行
期間	2010年1月3日(日)	形態	日帰りハイキング
参加人数	9人		

行動記録:

1/3(日) 雪、微風、-2

王滝 PKG(500) ==2:30== ふるさと村自然園(730,815) --3:00-- 尾根/沢コース分岐(1115,1130) --1:00-- 南沢山手前 1525m 地点(1230,1245) --1:15--登山口(1400) --0:15-- ふるさと村自然園(1415,1440) ==0:20== くいしんぼ(食事)(1500,1555)==0:05==湯ったりーな昼神(温泉)(1600,1700) ==0:25==どんぐりの湯(1800,1810) ==0:50== 王滝 PKG(1900)

概念図:



日誌:

王滝PKGに集合し、車2台で出発。駐車場は車もまばらで日帰り山行程度なら複数台駐車しても問題なさそうだ。登山口のふるさと自然園には雪がしっかりついている、年末年始の大雪で新雪が30センチ以上積もっているようだ。登山口からさっそくワカンを装着し尾根道を進むが最初からラッセルが続き雪山の醍醐味を思う存分楽しめる。樹林帯の中は風がほとんどなく風の冷たさを感じないが、雪がずっと降っていたためか高度を上げるにつれて気温も少しずつ下がり休憩で止まっていると、とても寒く感じる。尾根道の途中では先輩方からの過去の道迷いのポイントを教えてもらいながら進み地形の読み方の勉強になりました。途中、中間点で休憩を挟みながら9人で交代しながらラッセルし進んだが雪が深く思うように前に進まない。吹き溜まりでは腰までであるところもあり思いのほか苦戦する。途中リーダーのHさんからこのペースでは南沢山は無理であろうことを告げられる、時間ギリギリまで進み折り返すとのこと。そして12:30時間切れとなり南沢山手前1525地点で下山を開始する。午後から天気は回復の予報だったが雪が降り続き、帰り道も行きにつけたトレースが少し埋まるほどでしたが下山は早く1時間15分ほどで登山口まで無事に戻ることが出来た。その後は食事を取り昼神温泉につかり無事王滝PKGに戻ってくることが出来ました。

・昼神温泉「湯ったりーな昼神」日帰り入浴大人500円

感想:

雪訓後初めての冬山登山となりましたが雪山での寒さ、ラッセルでの体力消耗と厳しさをしっかり体感することが出来とてもよかったと思います。時間切れとなり途中で登頂断念となりましたが夏山では経験できない雪上をワカンで歩くことができ十分楽しむことが出来ました。今後は雪山での地形の読み、気象をもっと勉強したいと思います。